

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人白陽会
事業所名称	高齢者在宅サービスセンターやぐち南
事業所所在地	東京都大田区矢口1丁目23番12号ゴールデン鶴亀ホーム内
事業所電話番号	03-5741-3322

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)法人の理念である「明るく・楽しく・すごせる毎日」の実現を目指し、ご利用者・職員を大切にする。 2)異世代交流を進め、ご利用者・職員が共に地域とのつながりをもつ。 3)法人・職員が積極的に地域と関わりを持ち、地域貢献を行う。 4)研修や人材育成に力を入れ、働き甲斐のある職場を作る。 5)意見や考えをいつでも言い合える、風通しの良い職場を作る。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・利用者が地域の人や資源との接点を持てるようにすることに加え、施設としての地域貢献も考えています

池上梅園、池上本門寺、新田神社、近くのスーパーやお茶屋さんへの買い物など、地域での生活を感じられるような様々な企画をしています。近隣の保育園の園児が施設の花壇に水やりに来たり、囲碁・将棋や夏祭りの盆踊りボランティアにも来てもらい、地域の人々との交流を通して楽しみを感じてもらえるようにしています。施設で作ったお弁当は希望があれば地域住民も頼むことができます。また新型コロナウイルス感染症の影響で様子を見ていますが、施設の空きスペースを住民に貸出するなど、積極的に地域にも貢献していきたいと考えています。

- ・利用者の生活を支える様々な関係機関や専門職、家族とのコミュニケーションをよくとり、円滑に連携して支援しています

デイサービスとして利用者にどのような支援が必要か、どのようなサービスが提供できるか、を考える上で、家族やケアマネジャーからニーズをよく聴き取っています。生活相談員はサービス担当者会議に積極的に出席し、その他のサービス提供事業者とも情報共有して支援方針に反映させています。家族とは送迎時や電話で話したり、毎回の連絡帳を通してコミュニケーションをとって様子を共有しています。またデイサービスに勤務する看護師・作業療法士・管理栄養士などの専門職以外にも、併設の地域包括支援センターと連携し情報提供しています。

・

さらなる改善が望まれる点

- ・職員のタイムスケジュールを明確にし、職員間の連携強化を図り、業務の効率化に取り組んでいます。今後も継続していくことが望まれます

業務の効率化を図るために、管理者が中心となって業務内容を分析し、タイムスケジュールを作成しました。日勤職員をA勤務、B勤務、遅番職員をC勤務、D勤務に分け、業務内容をタイムスケジュール表に明確にしました。その結果職員の無駄な動きも無くなり、職員間の連携強化も図れました。また、通所介護事業所と認知症対応型事業所の両方の事業所を同じ職員が担当することに変更したことで両事業所の協力体制も強化されました。今後この体制で取り組むことで、より効率的にサービスが提供されることが期待されます。

- ・職員の経験年数などに差があり、介護技術にもばらつきがあるため、研修やOJTなどで介護技術の向上を図ること

が期待されます

職員の中には経験の浅い人や外国籍の人もいますので、介護技術に差があります。法人研修では紙おむつの使い方や褥瘡についてなどの研修があり、事業所では、職員の介護の方法で気付いた時に随時管理者や生活相談員、作業療法士が指導しています。今後はマニュアルの活用や先輩職員によるOJT、職場内研修などで介護技術のスキルアップを図り、職員全員がより質の高いサービスを提供できることを期待します。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・利用者の身体機能や家庭環境を考慮し、柔軟に入浴サービスを提供しています

入浴にまつわる動作（整容・衣類の脱着・全身洗髪）や自宅での入浴状況をアセスメントして、入浴の際に必要な支援を見極めていきます。一般浴と2種類の機械浴（座ったまま入れる機械浴と寝た状態で入れる機械浴）が整備され、利用者の状態に応じて入浴方法を選択しています。一般浴の浴室には壁に大きな富士山の絵が描かれており、銭湯のような昔懐かしい雰囲気も感じられます。1日の入浴対応者数を設定していますが、個別の事情を考慮して、出来る限り希望に応えられるよう人数に捉われず柔軟に対応しています。

・機能訓練指導員と介護職員が連携し、利用者の生活機能の向上を目指しています

医師の意見を確認した上で作業療法士が中心となり、個別の機能訓練計画書を作成しています。生活機能の向上を目指すため送迎時に作業療法士が同行し、自宅での様子も評価して機能訓練計画書に反映させています。作成した計画に沿い、作業療法士以外にも看護師や介護職員が機能訓練に取り組んでいます。施設には平行棒やレッドコード、エアロバイク、メドマーなどのリハビリ器具も充実しており、機能訓練指導員（看護師・作業療法士）から助言をもらいながら介護職員も積極的にリハビリを提供しています。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

37/60

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	81.0%	13.0%		
	いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%			
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	81.0%	5.0%	10.0%	
	いいえ：2.0%			
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	72.0%	16.0%	8.0%	
	無回答・非該当：2.0%			
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	75.0%	18.0%		
	いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%			
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	86.0%	8.0%	5.0%	
	いいえ：0.0%			
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	89.0%	5.0%	0.0%	
	いいえ：0.0%			
7. 職員の接遇・態度は適切か	91.0%	5.0%		
	どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0%			
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78.0%		18.0%	
	どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0%			
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	70.0%	5.0%	24.0%	
	いいえ：0.0%			
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	91.0%	5.0%		
	どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0%			
11. 利用者のプライバシーは守られているか	83.0%	8.0%	8.0%	
	いいえ：0.0%			
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	89.0%	5.0%	0.0%	
	いいえ：0.0%			
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	89.0%	5.0%	0.0%	
	いいえ：0.0%			
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	72.0%	8.0%	18.0%	
	いいえ：0.0%			
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	62.0%	18.0%	16.0%	
	いいえ：2.0%			